

第30回神戸市みちの懇談会（議事要旨）

日 時 平成29年3月17日 午前10時00分～12時00分

場 所 神戸市役所危機管理室 本部員会議室

1. みちづくり計画（H28～H37）の広報について

- ・ エリアごとに色を変え、コンパクトに纏められており、前回に比べてわかりやすくなった。
- ・ 課題の写真と整備前後の写真が混在しているので、整備後を強調するなどの工夫をした方がわかりやすい。
- ・ 東灘から長田は5つの区に跨っており、エリアが広いので、東灘・灘でまとめるなど、チラシは2つくらいに分けた方が良いと思う。
- ・ 何をどの程度積極的に広報し、どのように意見集約するかについて今後よく考えた方が良い。

2. みちづくり計画（H28～H32）の進行管理・評価および広報について

- ・ 「まちなか拠点」というと、一様に見えるので、場所やものによって役割が異なることに注意が必要である。
- ・ パークレットの高さは悪くはないが、花の高さを調節するなどし、10cm程度下げることによって、店が見やすいという利点はあるかもしれない。
- ・ パークレットについて、地域ぐるみでいろいろなイベントが開かれれば良いと思う。
- ・ 東西だけでなく、ウォーターフロントをうまく活用し、点から線や面に広げるために、パークレットのような拠点となるものを南北にも広げると良いと思う。
- ・ まちなか拠点は集客施設ではないので、日常的に使ってもらえる工夫がいたると思う。
- ・ パークレットをはじめ、道路が公の持ち物ではなく、地域の人が自分たちのものとして管理しながら使っていくことができるということはとても良いと思う。
- ・ 三宮プラッツはわくわくするような情報発信基地のようなものにすればもっとよくなると思う。
- ・ 流行に左右されない、長期的な視点で道路の作り方を考え、神戸らしさを出すと良いと思う。